

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52325	特別支援教育 (Special support education idea)	谷村 和秀 奈良 里紗 松井 通記	専門	2	必修	2年 後期
<b>科目</b>		<b>施行規則に定める科目区分又は事項等</b>				
教育の基礎的理解に関する科目		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				
<b>科目の概要</b>						
通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒について学ぶ。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援方法を学ぶ。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童、及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を学ぶ。			① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が理解できる。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援方法が理解できる。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童、及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	生徒や保護者に自ら関わられるようになる				
	働きかけ力					
	実行力	自ら考えた支援を生徒や保護者に行う				
考え抜く力	課題発見力	生徒やその保護者のニーズが理解できるようになる				
	計画力	生徒のライフサイクルを見通した上で、支援することができる				
	創造力	生徒やその保護者の状況を踏まえた上で、それらの人にとってより良い教育が組み立てることができる				
チームで働く力	発信力	生徒のために考えた支援を他の教員や多職種に伝えることができる				
	傾聴力	生徒やその保護者の思いが聴くことができる				
	柔軟性	状況を把握した上で、行動することができる。				
	状況把握力	生活上に支障がある生徒や保護者の置かれている状況が把握できる				
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 小林徹・栗山宣夫『シリーズ 知のゆりかご ライフステージを見通した障害児の保育・教育』みらい、2300円 参考文献: 小学校・中学校・高等学校学習指導要領						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 教育実習事前事後指導、教育制度論・障がい児保育 資格との関連: 幼稚園教諭二種免許						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
・日頃から、児童家庭福祉に関するニュースに目をとめてください ・配布プリントや資料はしっかりノートにまとめておくこと。			・授業に必要なもの以外は、机の上には置かないようにすること ・正しい姿勢で受講すること ・授業中の私語は慎み、積極的に受講すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	90	①	✓	① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が理解できているか。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援方法が理解できているか ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童、及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解できているか
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (創造力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
④ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が理解できる。 ⑤ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援方法が理解でき、実践できる。 ⑥ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童、及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解でき、実践できる。 ※総合評価 90 点以上は S(秀)、89～80 点を A(優)とする	① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が理解できる。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援方法が理解できる。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童、及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。 ※総合評価 79～70 点を B(良)、69～60 点を C(可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	① 科目の概要や達成目標、評価方法について、理解する ② 特別支援教育に関する制度の理念を学ぶ(ソーシャルインクルージョン等) (担当:谷村)	講義	①ノーマライゼーション、インクルージョンの意味が理解できる。	(予習)シラバスを読み、講義の内容を理解する (復習)特別支援教育に関する制度の理念を整理する(ソーシャルインクルージョン等)	90	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	特別支援教育に関する仕組みについて学ぶ。 (特別支援学校、特別支援学級など) (担当:奈良)	講義	特別支援教育に関する仕組みについて理解できる。	(予習)特別支援教育に関する仕組みについて調べる。 (復習)特別支援教育に関する仕組みについて整理する。	180	主体性 傾聴力 規律性 柔軟性
3週 /	視覚障がい、聴覚障がいのある幼児、児童及び生徒の発達、心理的特性、生活上の困難及び学習の課程を学ぶ(担当:奈良)	小テスト 講義	視覚障がい、聴覚障がいのある子どもの発達、心理的特性および学習の課程が理解できる	(予習)視覚障がい及び聴覚障がいについて調べる。 (復習)視覚障がい、聴覚障がいのある子どもの発達、心理的特性および学習の課程が理解できる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力
4週 /	肢体不自由のある幼児、児童及び生徒の発達、心理的特性、生活上の困難について学ぶ (担当:谷村)	小テスト 講義	肢体不自由の特徴が理解できる	(復習)肢体不自由のある幼児、児童及び生徒の発達、心理的特性、生活上の困難についてまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力
5週 /	知的障がいのある幼児、児童及び生徒の発達、心理的特性、生活上の困難について学ぶ (担当:谷村)	小テスト 講義	知的障がいの特徴が理解できる	(予習)知的障がいの特性をまとめる (復習)知的障がいのある幼児、児童及び生徒の発達、心理的特性、生活上の困難についてまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力
6週 /	発達障がいのある幼児、児童及び生徒の発達、心理的特性、生活上の困難について学ぶ (担当:谷村)	小テスト 講義	①発達障がいの特徴が理解できる	(予習)発達障がいの特性をまとめる (復習)発達障がいのある幼児、児童及び生徒の発達、心理的特性、生活上の困難についてまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力
7週 /	肢体不自由、知的障がい、発達障がいのある幼児、児童及び生徒に対する教育的支援方法を学ぶ。 (担当:松井)	小テスト 講義	肢体不自由、知的障がい、発達障がいのある幼児、児童及び生徒に対する教育的支援方法が理解できる	(復習)肢体不自由、知的障がい、発達障がいのある幼児、児童及び生徒に対する教育的支援方法をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力
8週 /	「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容を学ぶ。(担当:奈良)	小テスト 講義	「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容が理解できる	(復習)「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義及び方法を学ぶ(担当:松井)	小テスト 講義	個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義及び方法が理解できる	(復習) 個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義及び方法をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力
10週 /	事例を通して、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義及び方法を学ぶ(特に乳幼児期の事例を中心に)(担当:松井)	小テスト 講義	事例を通して、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義及び方法が理解できる	(復習) 事例を通して、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義及び方法をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 状況把握力
11週 /	特別支援教育に関わる専門職について学ぶ(特別支援教育コーディネーター等)(担当:松井)	小テスト 講義	特別支援教育に関わる専門職について、理解できる	(復習) 特別支援教育に関わる専門職について、まとめる	180	主体性 傾聴力 規律性
12週 /	他職種連携に基づく地域支援の実際と方法を学ぶ(担当:谷村)	小テスト 講義	他職種連携に基づく地域支援の実際と方法が理解できる	(復習)他職種連携に基づく地域支援の実際と方法をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性 計画性
13週 /	母国語が異なる幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を学ぶ。(担当:谷村)	小テスト 講義	母国語が異なる幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性が理解できる	(復習) 母国語が異なる幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性
14週 /	貧困の問題を抱えている幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を学ぶ。(担当:谷村)	小テスト 講義	貧困の問題を抱えている幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性が理解できる	(復習) 貧困の問題を抱えている幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性
15週 /	教育分野における合理的配慮について学ぶ(担当:谷村)	小テスト 講義	教育分野における合理的配慮について理解できる	(復習) ①教育分野における合理的配慮について理解できる ②筆記試験のためのテスト勉強を行う	270	

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力